瀬戸石ダム・発電所の状況について(2024年6月)

瀬戸石ダム・発電所(熊本県葦北郡芦北町・同球磨郡球磨村)について、流域の安全・安心に向けた取り組み状況をお知らせいたします。

1. 出水時における情報の周知・提供について【資料 1】

出水期 (※1) を迎えるにあたり、瀬戸石ダムに関する情報について、引き続き様々な手段により周知・提供してまいります。

なお、当社がお知らせする放流量等の情報はダム地点のものであり、避難等については行政から 提供される情報等をもとにご判断ください。

※1 梅雨や台風による大雨で河川が増水しやすい期間で、球磨川では、6 月 11 日から 9 月 20 日までが出 水期間とされています。

2. 下流警報設備の改善【資料 2】

「令和 2 年 7 月豪雨」(2020 年)で被災した下流警報設備について、翌年の出水期前 (2021 年 5 月末)までに復旧し、その際、可能な範囲で装置の取付け位置を高くする対策を 行いました。

加えて、「令和 2 年 7 月豪雨」と同規模の出水が発生した場合、浸水するおそれが残っている一部の警報設備を、より高い場所に順次移設することとしています(2026 年度の出水期までに移設完了予定)。なお、移設完了前に大規模出水が発生する場合も想定し、仮に浸水により警報設備が使用できなくなった場合でも、洪水量 2,000m³/s 以上が流下時に点灯する 5 色表示の警告灯(パトライト)を設置済です(移設済の 2 局を除く 11 局)。

3. 瀬戸石調整池の堆積土砂排除等 【資料 3】

2023 年度は約 1.3 万 m^3 の堆積土砂排除を行いました。排除した土砂のうち 0.8 万 m^3 は 熊本県の公共事業に提供する等有効活用への協力を行いました。

また、2023 年度は先に土砂仮置き場から国や県の公共事業に約 5.9 万 m^3 の土砂を提供しており、合計で 6.7 万 m^3 となりました。最新の調査による堆積土砂量は、2012 年度のピーク時から約 6 割減少しております。

今後も土砂排除や出水時の通砂/排砂運用により堆積土砂の低減に努めてまいります。 なお、当社ホームページにて、「通砂/排砂運用情報」等が確認できます。

(閲覧方法)

右の QR コードを読み込んでいただくか、 次の URL からご覧ください。



https://www.jpower.co.jp/bs/renewable_energy/hydro/seto/safety.ht ml

4. 瀬戸石ダムの安全性 【資料 4】

今年 3 月に実施した変位測量等の結果において、特に変化は認められず、ダムの安全性に問題はないことをあらためて確認しております。今後も調査・確認を継続してまいります。

5. 瀬戸石ダム 事前放流による水位低下 【資料 5】

瀬戸石ダムでは、大きな出水が予想される場合に、2020 年 5 月に河川管理者、ダム管理者および関係利水者との間で締結した「球磨川水系治水協定」に基づき事前放流を実施し、調整池の水位を低下させ空き容量を確保するとともに、通砂/排砂により同容量の維持・拡大を目指す運用を実施しています。

大きな出水となった 2022 年 9 月の台風 14 号や 2023 年 8 月の台風 6 号において、事前放流により容量の確保に努めました。

なお、2023 年度からは、6月~9月の間、通砂/排砂運用によりダム水位を更に低下(最大容量 680万 m^3 から 870万 m^3 に拡大)させる運用を開始しています。

6. 瀬戸石ダムの連絡橋の通行

連絡橋の補修は、上下流の道路・橋の復旧状況を踏まえ、2023 年 10 月より開始しました (工事完了は 2026 年 5 月 $(**^2)$ を予定しております)。

工事期間中は全面車両通行止めですが、6月1日から9月20日の間は許可車両・緊急車両のみ通行可能となります。

※2 工事着手の前倒しを踏まえ、今回工事完了時期の見直しを行いました。

当社は、今後も流域の皆さまの安全・安心のために必要な対応や改善を継続しながら、発電所の安全運転に万全を期してまいります。

以 上

<添付資料>

【資料 1】瀬戸石ダム 球磨川増水時のお知らせ

【資料 2】瀬戸石ダム 下流警報設備の改善

【資料 3】瀬戸石ダム 堆積土砂排除実績

【資料 4】瀬戸石ダム ダムの変位測量

【資料 5】瀬戸石ダム 事前放流による水位低下